

## 子どもの病気について ～症状に合わせた対応～

感染症にかかった場合の登園に際しては、①保育園内での感染症の集団発生や流行につながらないこと、②健康（全身）状態が、集団生活に対応できる状態に回復していることに留意が必要です。登園を控える方が望ましい場合は、医療機関を受診し、家庭での看護をお願いいたします。

	登園を控える方が望ましい場合	登園が可能な場合
発熱時	※発熱期間と同日の回復が必要 ・朝から37.5℃を超えた熱と共に元気がなく機嫌が悪い。 ・食欲がなく、朝食、水分が摂れていない。 ・24時間以内に解熱剤を使用している。 ・24時間以内に38℃以上の熱が出ていた。 ☆1歳児以下の場合 （上記の症状にプラスして） ・平熱より1℃以上高い時（38℃以上）	※前日38℃を超える熱が出ていない ・熱が37.5℃以下で元気があり、機嫌が良い。顔色が良い。 ・食事や水分が摂れている。 ・24時間以内に解熱剤を使っていない。 ・24時間以内に38℃以上の熱は出ていない。 ・発熱を伴う発疹が出ていない。 ・排尿の回数が減っていない。 ・咳や鼻水を認めるが、悪化していない。
下痢の時	・24時間以内に2回以上の水様便がある。 ・食事や水分を取ると下痢がある。 （1日に4回以上の下痢） ・下痢に伴い、体温がいつもより高めである。 ・朝、排尿がない。	・感染の恐れがないと診断されたとき。 ・24時間以内に2回以上の水様便がない。 ・食事、水分摂取ができ下痢がない。 ・発熱が伴わない。 ・排尿がある。
嘔吐の時	・24時間以内に2回以上の嘔吐がある。 ・嘔吐に伴い、いつもより体温が高めである。 ・食欲がなく、水分も欲しがらない。 ・機嫌が悪く、元気がない。 ・顔色が悪く、ぐったりしている。	※感染の恐れがないと診断されたとき ・24時間以内に2回以上の水様便がない。 ・発熱がみられない。 ・水分摂取ができ、食欲がある。 ・機嫌がよく元気である。 ・顔色が良い。
咳の時	※前日に発熱がなくても ・喘息や呼吸困難がある。 ・夜間しばしば咳のために起きる。 ・呼吸が速い。 ・37.5℃以上の熱を伴っている。 ・元気がなく、機嫌が悪い。 ・食欲がなく朝食、水分が摂れない。 ・少し動いただけで咳が出る。	※前日37.5℃を超える熱が出ていない。 ・喘息や呼吸困難がない。 ・続く咳がない。 ・呼吸が速くない。 ・37.5℃以上の熱を伴っていない。 ・機嫌がよく、元気である。 ・朝食や水分が摂れている。
発疹の時	・発疹とともに発熱があるとき。 ・今までになかった発疹が出て、感染症が疑われ、医師より登園を控えるよう指示されたとき。	※受診の結果、感染の恐れがないと診断されたとき。
とびひの時	・顔等で患部を覆えないとき。 ・浸出液が多く、他児への感染の恐れがあるとき。 ・かゆみが強く、手で患部をかいてしまうとき。	※受診の結果、感染の恐れがないと診断されたとき。

※医師が記入した【意見書】が必要な感染症があります。（意見書下部に記載）

【意見書】用紙は保育園にもありますが、15ページに添付してあるものをコピーして使用されてもかまいません。